

## 1. 案件の概要

### (1) 案件名

(和文) 平成 30 年度国別研修パプアニューギニア「教育の質の改善」

(短期第 3 バッチ第 1 回)

(英文) Improvement of Quality of Teaching Materials (Short-Term Training)

(2) 研修期間 平成 30 年 11 月 5 日～平成 30 年 11 月 30 日

(3) 研修員数 9 人

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 田村 和之

## 2. 案件目標(アウトカム)と単元目標(アウトプット)の達成度

### (1) 案件目標(アウトカム)

- ・ 技プロで開発した教科書・指導書の活用方法を指導できる人材(教員養成校教官)を育成する。

#### 指標:

研修員が本邦研修終了までに発表したアクションプランや成果物により理解度が一定レベルに達成しているか確認される。

### (2) 単元目標(アウトプット)

#### 単元目標①:

技プロで開発した教科書・指導書の活用に向けて、教員養成校教官の理数科の知識(授業実践に必要な教科内容知識: Pedagogical Content Knowledge: PCK)が向上する。

#### 指標:

研修員が研修中に発表したレポート等にまとめられた「教科書・カリキュラムの課題」に関する記述の内容や模擬授業の評価について 4 段階評価が B(やや優れている)以上。

#### 単元目標②:

理数科の教科書・指導書の活用方法・指導方法が理解される。

#### 指標:

研修員が研修中に作成・発表した指導案等にまとめられた記述の内容が新たに作成されている「教科書・指導書」に基づいているか、また模擬授業の評価について 4 段階評価が B(やや優れている)以上。

#### 単元目標③:

教員養成校の理数科分野のカリキュラムの考え方が理解される。

#### 指標:

研修員が研修中のディスカッションや最終的に提出したレポート等にある「研修で得られた知識とスキルの活用」に関する記述等の内容の 4 段階評価が B(やや優れている)以上